

東丹沢方面の自然公園情報

日付：令和7年6月18日（水）

コース：堂平—天王寺尾根—瀬戸沢ノ頭周辺

天気：曇り時々晴れ

温度：25℃（12時頃、堂平付近にて）

●間伐された明るいスギヒノキの混交林と林床を覆う下草は、思わず立ち止まって眺めたくになります。でもそのほとんどがテンニンソウ、マツカゼソウ、オオバアサガラといったシカが好んで食べない植物に占められていて、見た目の美しさが本来の自然の姿ではないのが残念です。



●ヒノキの樹皮がバナナの皮をむいたように剥がれていました。クマ剥ぎの跡のようです。理由にはいろいろな説があり、はっきりとは解っていないようです。最近丹沢でも見かけることが増えました。クマもヒトとの遭遇は避けようとしています。鈴等を身に付けて存在を知らせるようにしましょう。



●登山道脇に張られたロープをたくさんのアリが移動していました。移動の行先は解りませんが、地面を進むよりスムーズそうに見えます。



●ツルシロカネソウとフタリシズカがたくさん咲いていました。オオバイケイソウはほとんどつぼみでしたが、咲き始めている花もありました。



ツルシロカネソウ



フタリシズカ



オオバイケイソウ

●他にはサワギク、サラサドウダン、ニガナ等も咲いていました。



サワギク



サラサドウダン



ニガナ